

頸椎牽引



治療方法

頸椎牽引とは、頸椎椎間を固定することによって、または伸張する方向に力を与えることにより、頸椎の脊髄症状、神経根症状、局所症状などの寛解・治癒を期待する治療方法です。

いすに座り、スリングを顎の下にかけ上方へと牽引します。治療時間は約10分間です。

適 応

頸部脊椎症（脊髄症、神経根症、局所症状、椎骨動脈不全症状、バレーリュー症など）。

項部、肩、胸部から手指にかけての疼痛、しびれなどを訴える頸肩腕症候群。初期の安静期が過ぎてからの頸椎捻挫

禁 忌

リウマチや乾癬性関節炎、強直性脊椎症などの炎症性の脊椎炎、結核性疾患（脊椎カリエス）、悪性腫瘍の転移のあるもの、牽引によって症状の悪化するもの、頸動脈や椎骨動脈の重篤な動脈硬化症があるもの、高齢者で骨粗鬆症が著明なものなど。

腰椎牽引



治療方法

脊柱を牽引することによって、椎間および椎間孔は拡がり、上・下椎間関節面に加わる圧が減少します。したがって(1)後縦靭帯に対する圧と異常緊張の緩和、(2)神経根圧迫と根周囲における循環障害などの刺激因子の除去、(3)筋の不均衡状態の除去、(4)神経系と筋系との間の悪循環の遮断、(5)筋・腱・靭帯に対する一種のマッサージ効果による腫脹の除去と循環の改善などの効果が期待できます。専用の牽引用吊り革(ベルト)を装着し、台の上に横になります。治療時間は約10分間です。

適 応

変形性脊椎症、根性坐骨神経痛、いわゆる腰痛症、筋・筋膜炎性腰痛症、椎間板ヘルニア、脊椎分離症・すべり症など

禁 忌

全身衰弱のはなはだしいもの、結核性疾患や悪性新生物のあるもの、牽引によって悪化する危険のあるもの、疼痛の著明なもの、骨粗鬆症の著明なものなど